

政務活動に係る活動報告書

会 派 名	孝山会
活 動 項 目	先進地視察・研修会開催・ <u>研修会参加</u> ・その他（ ）
年 月 日	令和6年2月5日
参 加 者 名	川崎朋巳・高橋要市・大沢芳朋・小松正和・木村泰之
視 察（研修）地	京都府京都市
目 的	地方自治体財政の仕組みや財政運営について理解を深める
調査（研修）項目等	1.「財政を理解して、より説得力のある政策提案につなげよう！」 2.「令和時代における持続可能な財政運営に向けて」
概 要	自治体における財政の基本的知識や地方交付税の仕組み、単年度会計の予算決算を踏まえた将来的な収支見通しの重要性など、基本的な自治体財政に関する知識について。 全国の自治体が根本的に抱えている課題や周辺自治体の政策が、自らの地域に与える影響、事業における予算の出どころや人材の重要性に関する認識を高める。 過去の地方自治体決算を踏まえた財政の健全化への理解や、基金や地方債への過度に依存することの危険性に関すること、事業が経済的、効率的に有効に行われているか、事業規模が適切であるかなどの分析、考え方について。
所 感	前尼崎市長が自身の首長経験による視点・立場に基づいた内容を聞き、課題と政策の目的を明確にすることで両輪の一翼としての議会としてより大局的な立場から議論を進める必要があると改めて感じた。 観光客の増加等で市の財政が圧迫されているとされる京都市の過去の財政情報から、今日の京都市の状況を想像する内容は現実的で、情報を精査し議論が重ねることが重要だと痛感した。